

京都大学人文科学研究所共同研究実績・活動報告書

(5年計画の1年目)

1. 研究課題

秦漢法制史料の研究

Study on Legal Texts in the Qin-Han Dynasties

2. 研究代表者氏名

宮宅 潔

MIYAKE Kiyoshi

3. 研究期間

2021年4月-2026年3月(1年目)

4. 研究目的

2003年に湖南大学岳麓書院が購入した岳麓書院所蔵簡には、秦代の裁判史料や数学書その他、大量の法律条文が含まれる。今のところ秦律令(1)～(3)の三冊が刊行され、そこに収録される簡牘は約1000枚にのぼる。これらの条文は、始皇帝による中国統一以降に書写・編集されたのが確実なものであり、初期中華帝国が成立した当初の、国家統治の設計図ともいべき史料である。これまで、「秦代出土文字史料の研究」において当該史料を会読してきたが、本研究班でもそれを継続して行い、訳注を作成する。これと平行して、睡虎地漢簡の会読も行う予定である。こちらの史料は、2006年に湖北省の睡虎地77号漢墓から発見された簡牘群であり、850枚ほどの漢代の律令のほか、いくつかの公文書を含む。これらの条文は前漢の文帝～景帝頃のもので、岳麓簡との間には半世紀程度の時代差がある。この史料が全面公開されたなら、本格的な会読を開始し、秦・漢の法律史料を比較することによって、初期帝国の変容を跡づけることを目指したい。

The Yuelu Qin strips, which were purchased by the Yuelu Academy of Hunan University in 2003, contain a large volume of texts of Qin statutes and ordinances, together with records of exemplary criminal cases and writings on mathematical procedures. To date, three volumes of Qin statutes and ordinances have been published, including some 1,000 bamboo strips. Almost certainly, these texts were written and edited after unification by the First Emperor. Thus, these laws could be said to be the foundational principles of the government at the very beginning of the early Chinese empire. In this project, taking on board the findings of an earlier project, "Study on the Excavated Manuscripts of the Qin Dynasty", we will read these texts and progressively publish annotated translations. In addition, it is planned to read the Shuihudi Han strips, which

were excavated from Tomb No.77 in Shuihudi, Hubei Province, in 2006. Around 850 strips of Han statutes and ordinances, as well as several official documents, are included therein. These manuscripts are dated in the reign of Han Emperors Wen and Jing; there is almost a half-century time difference from the Yuelu Qin strips. Following publication of Shuihudi, we will start reading it and analyzing the transformation of the early Chinese empire by comparing the Han legal texts against those of the Qin Dynasty.

5. 本年度の研究実施状況

岳麓書院所蔵簡《秦律令（壹）》の会読を進め、約80簡を読了した。その成果の一部は「訳注稿 その（四）」として、『東方学報』誌上に発表した。同時に、訳注の単行本化に向けて、付載する研究ノートの予備発表を開始した。里耶秦簡〔壹〕の会読もこれと平行して行い、これについては関係論文を中国・武漢大学のHP「簡帛網」に投稿し、掲載された。

6. 本年度の研究実施内容

2021-04-02	岳麓簡会読	岳麓〔肆〕	313-324	発表者	宮宅 潔
2021-04-09	岳麓簡会読	岳麓〔肆〕	313-324	発表者	宮宅 潔
2021-04-16	岳麓簡会読	岳麓〔肆〕	313-324	発表者	宮宅 潔
2021-04-23	岳麓簡会読	岳麓〔肆〕	325-336	発表者	鷹取 祐司 立命館大学
2021-04-30	岳麓簡会読	岳麓〔肆〕	325-336	発表者	鷹取 祐司 立命館大学
2021-05-07	岳麓簡会読	岳麓〔肆〕	325-336	発表者	鷹取 祐司 立命館大学
2021-05-14	岳麓簡会読	岳麓〔肆〕	325-336	発表者	鷹取 祐司 立命館大学
2021-05-21	岳麓簡会読	岳麓〔肆〕	337-345	発表者	畑野 吉則 奈良文化財研究所
2021-05-28	岳麓簡会読	岳麓〔肆〕	337-345	発表者	畑野 吉則 奈良文化財研究所
2021-06-04	岳麓簡会読	岳麓〔肆〕	337-345	発表者	畑野 吉則 奈良文化財研究所
2021-06-11	岳麓簡会読	岳麓〔肆〕	346-353	発表者	齊藤 賢 文学研究科
2021-06-18	岳麓簡会読	岳麓〔肆〕	346-353	発表者	齊藤 賢 文学研究科
2021-06-25	岳麓簡会読	岳麓〔肆〕	346-353	発表者	齊藤 賢 文学研究科
2021-07-02	岳麓簡会読	岳麓〔肆〕	354-363	発表者	藤井 律之
2021-07-09	岳麓簡会読	岳麓〔肆〕	354-363	発表者	藤井 律之
2021-07-16	岳麓簡会読	岳麓〔肆〕	354-363	発表者	藤井 律之
2021-07-30	岳麓簡会読	岳麓〔肆〕	364-373	発表者	目黒 杏子 京都府立大学
2021-09-03	岳麓簡会読	岳麓〔肆〕	364-373	発表者	目黒 杏子 京都府立大学
2021-09-10	里耶秦簡会読	里耶秦簡⑧1145～⑧1187		発表者	宗 周太郎 文学研究科
2021-09-17	岳麓簡会読	岳麓〔肆〕	364-373	発表者	目黒 杏子 京都府立大学
2021-09-24	里耶秦簡会読	里耶秦簡⑧1074～⑧1109		発表者	佐藤 達郎 関西学院大学

2021-10-01 岳麓簡会読 岳麓〔肆〕374-382 発表者 安永 知晃 関西学院大学
2021-10-15 里耶秦簡会読 里耶秦簡⑧1145～⑧1187 発表者 宗 周太郎 文学研究科
2021-10-22 岳麓簡会読 岳麓〔肆〕374-382 発表者 安永 知晃 関西学院大学
2021-10-29 里耶秦簡会読 里耶秦簡⑧1145～⑧1187 発表者 宗 周太郎 文学研究科
2021-11-05 岳麓簡会読 岳麓〔肆〕374-382 発表者 安永 知晃 関西学院大学
2021-11-19 里耶秦簡会読 里耶秦簡⑧1145～⑧1187 発表者 宗 周太郎 文学研究科
2021-11-26 岳麓簡会読 岳麓〔肆〕383-391 発表者 章 瀟逸 人間環境学研究科
2021-12-03 里耶秦簡会読 里耶秦簡⑧1145～⑧1187 発表者 宗 周太郎 文学研究科
2021-12-10 岳麓簡会読 岳麓〔肆〕383-391 発表者 章 瀟逸 人間環境学研究科
2021-12-17 里耶秦簡会読 里耶秦簡⑧1188～⑧1221 発表者 畑野 吉則 奈良文化財研究所
2022-01-07 岳麓簡会読 岳麓〔肆〕383-391 発表者 章 瀟逸 人間環境学研究科
2022-01-14 里耶秦簡会読 里耶秦簡⑧1110～⑧1143 発表者 目黒 杏子 京都府立大学
2022-01-21 岳麓簡会読 岳麓〔肆〕383-391 発表者 章 瀟逸 人間環境学研究科
2022-01-28 里耶秦簡会読 里耶秦簡⑧1188～⑧1221 発表者 畑野 吉則 奈良文化財研究所
2022-02-04 岳麓簡訳注考証篇予備発表 「廷内史郡二千石官共令」をめぐって 発表者 宮
宅 潔 執法 発表者 土口 史記 岡山大学
2022-02-18 里耶秦簡会読 里耶秦簡⑧1188～⑧1221 発表者 畑野 吉則 奈良文化財研究所
2022-02-25 岳麓簡訳注考証篇予備発表 質 発表者 宗 周太郎 文学研究科 「君子」・「君
子子」小考 発表者 齊藤 賢 文学研究科
2022-03-04 里耶秦簡会読 里耶秦簡⑧1110～⑧1143 発表者 目黒 杏子 京都府立大学
2022-03-11 岳麓簡訳注考証篇予備発表 属・尉佐 発表者 西 真輝 文学研究科 西工室
発表者 林 怡冰 文学研究科
2022-03-18 里耶秦簡会読 里耶秦簡⑧1110～⑧1143 発表者 目黒 杏子 京都府立大学

7. 共同研究会に関連した公表実績

なし

8. 研究班員

所内

宮宅 潔、古勝 隆一、藤井 律之、陳 捷

学内

宗 周太郎(文学研究科)、斎藤 賢(文学研究科)、西 真輝(文学研究科)、章 瀟逸(人間環境学研究科)

学外

土口 史記(岡山大学)、目黒 杏子(京都府立大学)、角谷 常子(奈良大学)、鷹取 祐司(立命館大学)、佐藤 達郎(関西学院大学)、安永 知晃(関西学院大学)、郭 聡敏(立命館大学)、畑野 吉則(奈良文化財研究所)、金 秉駿(ソウル大学)、楊 長玉(雲南民族大学)、曹 天江(清華大学)、太田 麻衣子(国土館大学)

9. 共同利用・共同研究の参加状況

区分	機関数 (必須)	受入人数					延べ人数				
		総計	海外研究者	若手研究者 (40歳未満)	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	総計	海外研究者	若手研究者 (40歳未満)	若手研究者 (35歳以下)	大学院生
			(1)	(1)	(1)	(1)		(1)	(39)	(39)	(39)
学内(法人内)		10	3	5	5	5	328	74	190	190	190
		(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(39)	(39)	(39)	(39)	(39)
国立大学		1					28				
公立大学		1					40				
		(1)					(40)				
私立大学		6	1	2	2	1	235	39	79	79	39
		(3)	(1)	(1)	(1)	(1)	(118)	(39)	(39)	(39)	(39)
大学共同利用機関法人											
独立行政法人等公的研究機関		1		1			33		33		
民間機関											
外国機関		3	3	2	2	1	110	110	78	78	39
		(2)	(2)	(2)	(1)	(1)	(78)	(78)	(78)	(39)	(39)
その他 ※											
計	0	22	7	10	9	7	774	223	380	347	268
		(7)	(4)	(4)	(3)	(3)	(275)	(156)	(156)	(117)	(117)
※「その他」の区分受入がある場合 具体的な所属等名称を記載：例) 高校教員 無所属の場合は機関数0とカウントし、この欄の記載不要											

10. 本年度 共同利用・共同研究を活用して発表された論文数

	共同利用・共同研究による成果として発表された論文数			
			うち国際学術誌掲載論文数	
①人文研に所属する者のみの論文(単著・共著)	4			
②人文研に所属する者と人文研以外の国内の機関に所属する者の論文(共著)	1			
③人文研以外の国内の機関に所属する者のみの論文(単著・共著)				
④人文研を含む国内の機関に所属する者と国外の機関に所属する者の論文(共著)				
⑤国外の機関に所属する者のみの論文(単著・共著)				

本年度発表されたインパクトファクターを用いることが適当ではない分野等

雑誌名	掲載論文数	掲載年月日	論文名	発表者名
東方学報	1	R 3. 1 2	岳麓書院所蔵簡《秦律令(壹)》訳注稿 その四	「秦漢法制史料の研究」班(宮宅 潔 他)
岩波講座 世界歴史	1	R 3. 1 1	軍事制度よりみた帝国の誕生	宮宅 潔
簡帛網	1	R 4. 1	『漢簡語彙考證』訂補(一) 一遣自致、封符、物故	宮宅 潔
論点・東洋 史学	1	R 4. 1	秦の始皇帝—ファースト・エンペラーの素顔に迫れるか—	宮宅 潔
簡帛網	1	R 4. 1	『漢簡語彙考證』訂補(二)	安永 知晃

本年度 共同利用・共同研究による成果として発行した研究書

研究書の名称	編著者名	発行年月	出版社名
ある地方官吏の生涯 木簡が語る中国古代 の日常生活	宮宅 潔	R 3 . 8	臨川書店

11. 費目の 30%を超える大幅な変更があった場合の変更理由

なし

12. 次年度の研究実施計画

岳麓書院所蔵簡《秦律令（壹）》訳注の刊行に向け、付載する研究ノートの子備発表を行う。予備発表終了後は《秦律令（貳）》の会読を始め、訳注原稿を作成してゆく。あわせて、里耶秦簡（壹）の会読も継続して行う。

13. 次年度の経費

なし

14. 研究成果公表計画および今後の展開等

本年度の会読分を「岳麓書院所蔵簡《秦律令（壹）》譯注稿 その（五）」として『東方学報』誌上に発表する。併せて、《秦律令（壹）》（第四冊）分の訳注に校訂を加え、再整理して単行本として刊行する。